

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和7年5月28日	
愛媛県知事 中村 時広 殿	
提出者	
住 所 愛媛県松山市南江戸3丁目5-8	
氏 名 大和ハウス工業株式会社	
支店長 渡邊 哲康	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0899112558	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	大和ハウス工業株式会社 愛媛支店 愛媛県管轄内事業場
事業場の所在地	愛媛県管轄区域内
計画期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業
② 事業の規模	完成工事高 86.7億円
③ 従業員数	82名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙の通り

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・各施工現場における廃棄物の分別 ・法令を遵守し適正に委託処理 ・マニフェストの適正管理		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・継続して取組めます		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・コンクリートがら、アスコンがら、その他がれき類、ガラス陶磁器くず、廃プラ、金属くず、混合石綿含有廃棄物、紙くず、木くず、繊維くず、石膏ボード
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・継続して取組めます

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・継続して取組みます		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2025年 5月 28日

愛媛県知事 中村 時広 殿

提出者

住 所 愛媛県松山市南江戸3丁目5-8

氏 名 大和ハウス工業株式会社 愛媛支店

支店長 渡邊 哲康

電話番号 089-925-9998

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大和ハウス工業株式会社 愛媛支店 愛媛県管轄内事業場
事業場の所在地	愛媛県管轄区域内
計画期間	2025/04/01~2026/03/31
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	D06 総合建設業
② 事業の規模	完成工事高 86.7億円
③ 従業員数	82名 (パート社員含む)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙①のとおり

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙②のとおり	
	排 出 量	別紙②のとおり	t
	(これまでに実施した取組) ・各施工現場における廃棄物の分別 ・法令を遵守し適正に委託処理 ・マニフェストの適正管理		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙②のとおり	
	排 出 量	別紙②のとおり	t
	(今後実施する予定の取組) ・継続して取組みます		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・コンクリートがら、アスコンがら、その他がれき類、ガラス陶磁器くず、廃プラ、金属くず、混合石綿含有廃棄物、紙くず、木くず、繊維くず、石膏ボード
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・継続して取組みます

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	別紙のとおり	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・産廃処理委託先へ、定期的に処分場の現地確認や関連書類を提出いただき、適正に処分されていることを確認しています		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙②のとおり	
	全処理委託量	別紙②のとおり	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・継続して取組めます		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

廃プラ	→	選別・破碎・圧縮	→	再生利用：燃料
廃プラ	→		→	安定型・埋立
廃プラ	→	焼却・燃料	→	管理型・埋立
廃プラ（石綿含有）	→		→	安定型・管理型・埋立
廃プラ（石綿含有）	→		→	安定型・管理型・埋立
金属くず	→	選別・破碎	→	再生利用：鋼材
ガラ陶	→	選別	→	安定型・管理型・埋立
ガラ陶・石膏ボード	→	選別・破碎	→	再生利用：プラスターボード
ガラ陶（石綿含有）	→		→	管理型・埋立
ガラ陶（水銀使用）	→	破碎・切断	→	再生利用：ガラス成型品
ガラ陶（水銀使用）	→		→	管理型・埋立
廃太陽光パネル	→	切断・破碎	→	再生利用：鋼材 管理型・埋立
がれき類	→	選別・破碎	→	再生利用・砕石 再生利用：アスファルト
がれき類	→	選別・破碎	→	安定型・埋立
がれき類（石綿含有）	→		→	安定型・管理型・埋立
汚泥	→		→	管理型・埋立
廃油	→	焼却	→	管理型・埋立
紙くず	→	選別・破碎・圧縮	→	再生利用：再生紙類
木くず	→	選別・破碎・圧縮	→	再生利用：燃料・再生紙類
繊維くず	→	選別・破碎・圧縮	→	再生利用：燃料
混合廃棄物	→	選別	→	再生利用：燃料 管理型・埋立
廃石綿等	→		→	管理型・埋立

愛媛県 通常マニフェスト・工場デポ 合計表

実績

計画・目標

産業廃棄物の種類	マニフェスト種類	廃棄物種類	処理方法	処理方法別 換算：t	全処理委託量	優良認定者へ 委託量	再生処理業者へ 委託量(埋立除く)	熱回収認定業者へ 委託量	熱回収認定業者 以外へ委託量	全処理委託量	優良認定者へ 委託量	再生処理業者へ 委託量(埋立除く)	熱回収認定業者へ 委託量	熱回収認定業者 以外へ委託量
廃プラ	安定産廃	廃プラ/その他	リサイクル(マテリアル)	8.48	28.31	16.46	28.25	0	19.77	30.00	17.00	30.00	0	20.00
	安定産廃	廃プラ/その他	サーマル(熱回収)	11.62										
	安定産廃	廃プラ/その他	埋立	0.06										
	管理産廃	廃プラ/その他	サーマル(熱回収)	4.84										
	デポ	廃プラスチック	サーマル(熱回収)	3.31										
金属くず	安定産廃	金属くず/金属くず	リサイクル(マテリアル)	529.35	546.48	539.43	546.48	0	0	540.00	540.00	540.00	0	0
	安定産廃	金属くず/その他	リサイクル(マテリアル)	9.86										
	デポ	金属くず	リサイクル(マテリアル)	7.27										
汚泥	管理産廃	汚泥/汚泥	リサイクル(マテリアル)	302.40	302.40	302.40	302.40	0	0	300.00	300.00	300.00	0	0
ガラ陶	安定産廃	ガラ陶/ガラスくずおよび陶磁器くず	埋立	15.00	82.81	65.64	57.74	0	0.19	85.00	65.00	60.00	0	0.20
	安定産廃	ガラ陶/その他	埋立	7.43										
	管理産廃	ガラ陶/石膏ボード(新品破片)	リサイクル(マテリアル)	48.00										
	管理産廃	ガラ陶/石膏ボード(廃品)	リサイクル(マテリアル)	5.04										
	管理産廃	ガラ陶/石膏ボード(廃品)	埋立	2.64										
	管理産廃	ガラ陶/水銀使用製品産業廃棄物(預明)	リサイクル(マテリアル)	0.20										
	デポ	その他ガラスくずおよび陶磁器くず	リサイクル(マテリアル)	1.46										
	デポ	その他ガラスくずおよび陶磁器くず	サーマル(熱回収)	0.19										
デポ	石膏ボード	リサイクル(マテリアル)	2.84											
がれき類	安定産廃	がれき類/コンクリートがら	リサイクル(マテリアル)	1412.59	1971.50	1692.99	1738.35	0	0	2000.00	1700.00	1750.00	0	0
	安定産廃	がれき類/アスコンがら	リサイクル(マテリアル)	207.68										
	安定産廃	がれき類/A L C (廃品)	埋立	178.75										
	安定産廃	がれき類/石綿含有産業廃棄物	埋立	5.44										
	安定産廃	がれき類/その他	リサイクル(マテリアル)	118.08										
	管理産廃	がれき類/その他	埋立	45.76										
管理産廃	がれき類/その他	埋立	3.20											
紙くず	管理産廃	紙くず/段ボール	リサイクル(マテリアル)	0.96	24.53	4.02	24.53	0	3.03	25.00	4.00	25.00	0	3.00
	管理産廃	紙くず/その他	リサイクル(マテリアル)	3.53										
	管理産廃	紙くず/その他	サーマル(熱回収)	3.03										
	デポ	紙くず	リサイクル(マテリアル)	17.01										
木くず	管理産廃	木くず/良品木くず	サーマル(熱回収)	12.15	186.47	176.65	186.47	0	176.65	190.00	180.00	190.00	0	180.00
	管理産廃	木くず/その他	リサイクル(マテリアル)	7.26										
	管理産廃	木くず/その他	サーマル(熱回収)	164.50										
	デポ	木くず	リサイクル(マテリアル)	2.56										

総排出量 3142.50 2797.59 2884.22 0.00 199.65 3170.00 2806.00 2895.00 0.00 203.20

(第2面)

産業廃棄物の排出の正業に関する事項

(単位：t)

①現状	【前年度（令和6年度）実績】													
	産業廃棄物の種類	廃プラ	金属くず	ガラ陶	汚泥	-	がれき類	がれき/石綿	-	紙くず	木くず	繊維くず	-	-
	排出量	28.31	546.48	82.81	302.4	-	1971.5	0	-	24.53	186.47	0	-	-
②計画	【目標】													
	産業廃棄物の種類	廃プラ	金属くず	ガラ陶	汚泥	-	がれき類	がれき/石綿	-	紙くず	木くず	繊維くず	-	-
	排出量	30	540	85	300	-	2000	5	-	25	190	1	-	-

~~自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項~~

(単位：t)

①現状	【前年度（令和6年度）実績】													
	産業廃棄物の種類	廃プラ	金属くず	ガラ陶	-	-	がれき類	がれき/石綿	-	紙くず	木くず	繊維くず	-	-
	自ら再生利用を行った産業廃棄物量													
②計画	【目標】													
	産業廃棄物の種類	廃プラ	金属くず	ガラ陶	-	-	がれき類	がれき/石綿	-	紙くず	木くず	繊維くず	-	-
	自ら再生利用を行った産業廃棄物量				-									

~~自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項~~

(単位：t)

①現状	【前年度（令和6年度）実績】													
	産業廃棄物の種類	廃プラ	金属くず	ガラ陶	-	-	がれき類	がれき/石綿	-	紙くず	木くず	繊維くず	-	-
	自ら熱回収を行った産業廃棄物量 自ら中間処理により減量した産業廃棄物								-					
②計画	【目標】													
	産業廃棄物の種類	廃プラ	金属くず	ガラ陶	-	-	がれき類	がれき/石綿	-	紙くず	木くず	繊維くず	-	-
	自ら熱回収を行った産業廃棄物量 自ら中間処理により減量した産業廃棄物													